

「原価管理とコストダウン」

開催日：令和6年12月5日(木) 申込期限：令和6年11月14日(木) 実施会場：日南市生涯学習センターまなびピア

1 | カリキュラム内容

推奨対象者： 管理者層

ねらい： 低コスト化と生産性向上を目指して、原価管理をコスト（費用削減）と生産性（業務効率向上）の2軸で捉え、企業収益向上のポイントを習得する。

基本項目	主な内容
1 原価管理とは	(1) 原価管理の基礎知識 物価高騰が続く中で利益を確保していくには、材料費だけでなく全ての費用を正しく把握し削減していくことが重要。採算表などを基に、コストの構造とやるべきことについて学ぶ。 (2) ムダの見える化 コスト削減のタネは「盲点に」隠れている。削減したり減らすことができるものを「ムダ」と捉え、実例を基に学ぶ。
2 IE手法による標準時間設定方法	(1) IE (Industrial Engineering) とは IE手法について、分析手法の概略を学び問題発見に役立てる。 (2) 効果が高く継続できるIE活用【演習あり】 厳密なIEの実践は難易度が高いが、その活用方法を学ぶ。調査、問題の原因抽出、対策立案までをグループワーク形式で習得する。 (3) コスト削減活動のポイント より効果の高い改善をしていくためのポイントについて、うまくいった改善事例などを交えて学ぶ。
3 コスト削減	(1) 改善に向けた投資と効果 業務改善には多かれ少なかれ費用や労力は発生するが、遠慮して投資しないケースも多く見受けられる。投資と効果の考え方を学ぶ。 (2) ムダとり コストを削減する活動について、事例を交えながら学ぶ。

※受講者の当日のご様子を見て、主な内容を変更・追加する場合がございます。

2 | 講師紹介



田中 寛 / 株式会社タナカサトル技術支援

大手メーカーにおいてものづくり全般（新製品開発、業務改善、独立採算制、コストダウン）などに従事。技術士（機械部門）取得。
主体性の向上と業務の可視化・問題解決手法を用いた支援で成果を挙げている。

カリキュラム作成のポイント・ひとこと

経理部門が学ぶ原価管理ではなく、現場目線でコストダウンをしていくための原価管理の考え方と手法を学びます。業務改善の実際の成功事例から、業種を問わず自身の職場への応用を考えます。また、コストダウンや生産性向上のための原動力となる主体性について、向上する考え方を学びます。自分の職場・会社をよくするためのヒントを得たい方はぜひご参加ください。